資料１－２

２０２５年度
町田市認知症施策実績報告

№１　町田市認知症施策推進協議会における協議
№２　認知症地域支援推進員の育成
№３－１　認知症とともに生きるまちづくりの推進(普及啓発)
№３－２　認知症ケアパスの普及
№３－３　認知症とともに生きるまちづくりワークショップ
№３－４　認知症月間の取組
№４　“D-カフェ”（町田市版認知症カフェ）
№５　“D-ブックス”（認知症の人にやさしいブックフェア）
№６－１　認知症サポーター養成講座
№６－２　町田市版チームオレンジ
№７　認知症等による行方不明高齢者探索サービス事業/捜索事業
№８　認知症初期集中支援チーム事業
№９－１　認知症ケアに関わる研修会
№９－２　医療連携会議
№１０　認知症電話相談
№１１　医師によるもの忘れ相談
№１２　臨床心理士等による介護者等相談
№１３　視察・メディア掲載

2025 年度 **No.1**

～町田市認知症施策推進協議会における協議～

1. 目的

認知症高齢者及びその家族が住み慣れた地域で共に生活を送ることができるよう支援することを目的として、認知症施策の推進に関し関係者で協議するため、町田市認知症施策推進協議会を開催した。

2. 委員構成（2025 年度）

・学識経験者２名、認知症専門医療機関の代表、認知症疾患医療センターの代表、町田市医師会の代表、町田市歯科医師会の代表、町田市薬剤師会の代表、高齢者支援センターの職員、介護支援専門員、認知症高齢者グループホームの代表、認知症対応型通所介護事業所の代表、訪問看護ステーションの代表、日常生活及び社会生活関連サービス事業者の代表、家族会の代表、認知症である者

3. 開催日時

第 25 回　2025 年 7 月 15 日（火曜日）17：00～18：30
第 26 回　2026 年 2 月 16 日（月曜日）17：30～19：30

4. 協議内容

第 25 回　（１）認知症の人の家族介護者等の支援について

第 26 回　（１）２０２６年度町田市の認知症施策の計画（案）について

（２）認知症支援に関するニーズについて

（３）認知症の人の社会参加の推進について

（４）認知症の人の家族等への支援について

～認知症地域支援推進員の育成～

１．認知症地域支援推進員とは

〇市町村ごとに、地域包括支援センター、認知症疾患医療センター等に認知症地域支援推進員が配置され、地域の支援機関間の連携づくりや、「認知症ケアパス」の作成・活用の促進、認知症カフェを活用した取組の実施、社会参加活動促進等を通じた地域支援体制づくり、認知症の人やその家族からの相談等への対応等を行う。

２．町田市における認知症地域支援推進員の配置

〇高齢者支援センター職員 49 名、町田市職員 1 名、鶴川サナトリウム病院職員 4 名、
　計 53 名

〇認知症地域支援推進員新任者研修

　新たに認知症地域支援推進員として配置された人（配置予定を含む）が認知症施策の方向性を理解し、各市区町村における認知症施策の推進役を着実に果たしていくため、知識・技術を習得する。今年度は 10 名が受講した。

〇認知症地域支援推進員現任者研修

　認知症地域支援推進員としての活動経験を有する人たちが全国から参集して新たな情報や知識を学び、他地域の推進員と情報交換を行いながら、それまでの活動を通じて得られた諸成果や直面している地域課題の解決策等の共有を深めることにより、認知症施策及び認知症の人にやさしい地域づくりをより効果的に推進していくための力量向上を図る。また、新任者のフォローや、認知症地域支援推進員同士のネットワークづくりを推進する。今年度は 2 名が受講した。

３．町田市における認知症地域支援推進員の活動

〇認知症地域支援推進員連絡会の開催

　市では、認知症地域支援推進員の地域での活動を促進するため、各地域での取組の共有や、活動に関する相談・協議等を行う連絡会を開催している。

　2025 年度は 6 回開催した。また、今年度は、連絡会をより認知症地域支援推進員の活動に資する内容とするため、各回の開催前に市と認知症地域支援推進員とで協議内容の検討を行った。

【開催日】①2025 年 4 月 22 日　②2025 年 6 月 24 日　③2025 年 8 月 26 日
　　④2025 年 10 月 28 日　⑤2025 年 12 月 23 日　⑥2026 年 2 月 24 日

～認知症とともに生きるまちづくりの推進～
（普及啓発）

1. 目的

広く市民を対象に、認知症とともに生きるまちのイメージを共有し、認知症当事者の声を発信・共有する。

2. 開催概要

(1) イベント名　まちだＤサミット２０２６
～ともに語り、ともに笑い、ともに生きるまち へ～

(2) 日　　時　2026 年 2 月 7 日（土）10:00～16:00

(3) 場　　所　町田市民フォーラム（町田市原町田 4-9-8）

(4) 内　　容

午前の部	午前 10 時～	**午前の部：受付開始**	**体験ブース** ・Ｄカフェ （認知症カフェ） ・「16 のまちだアイ・ステートメント」について考えるワークショップ ・認知症ＶＲ体験 ・認知機能セルフチェッカー体験 など
	午前 10 時 40 分 ～午前 10 時 55 分	**オープニング**	
	午前 10 時 55 分 ～午後 0 時 10 分	**トークセッション①** 認知症とともに生きる町田へ ～本人発信からはじまる、支えるからともに生きる へ～ ※午前、午後と登壇者が変わるため、内容は異なります。	
	午後 0 時 10 分 ～午後 1 時		
午後の部	午後 1 時～	**午後の部：受付開始**	
	午後 1 時 45 分 ～午後 3 時	**トークセッション②**	
	午後 3 時 15 分 ～午後 4 時	**クロージングセッション** ～ともに語り、ともに笑い、ともに生きるまち へ～	

(5) 定　　員　　トークセッション：午前の部・午後の部　各 180 人
体験ブース：各ブースごとに整理券配布

3. 委託先

一般社団法人Ｄフレンズ町田

4. 実績

参加者数　未定

～認知症ケアパスの普及～

1. 目的

認知症の方をできるだけ早く発見し支援することで、認知症になっても自宅で暮らし続けられるように、認知症パンフレット「知って安心 認知症」を作成。

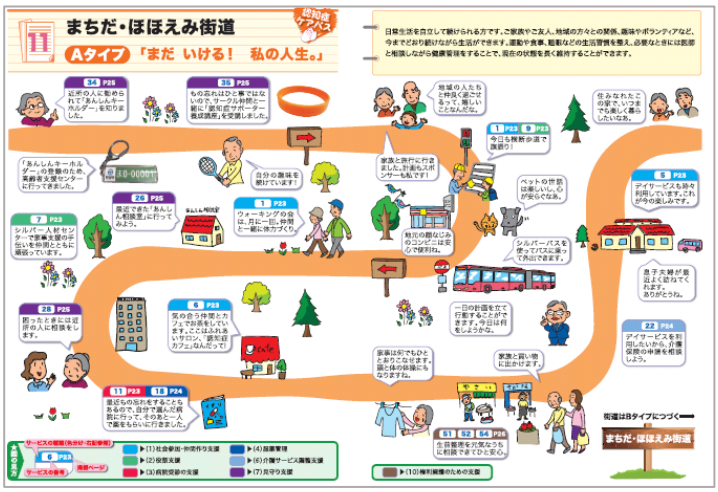
2. 内容

都内初の「認知症ケアパス※」を盛り込んだこのパンフレットは、認知症をわかりやすく説明し、認知症になったときに利用できるサービスを紹介。

※認知症ケアパスとは、認知症を発症したときから、生活機能障害の進行にあわせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければいいのかを予め標準的に決めておくこと（2013 年 7 月厚生労働省）。

3. 特徴

・自分の状態をチェックできる認知症の気づきチェックリストを掲載。
・認知症になった後の生活や利用できるサービスを、イラストやマンガを用いて、楽しく、わかりやすく紹介。



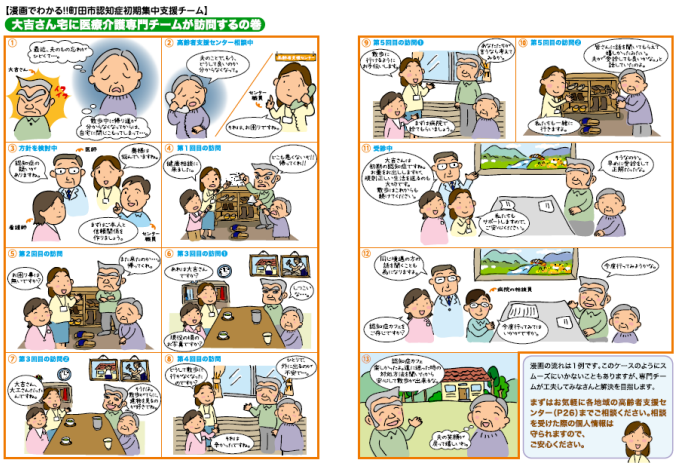
【認知症ケアパス　まちだ・ほほえみ街道】

4. 配布場所

・高齢者支援センター
・あんしん相談室
・ふれあい館
・市民センター
・コミュニティセンター
・市民フォーラム
・市役所窓口
（町田市ホームページでも閲覧可能）

5. 普及活動

・2025 年 12 月に増刷。内容についても一部改訂。



【漫画でわかる！！町田市認知症初期集中支援チーム】

2025 年度 **No.3-3**

～認知症とともに生きるまちづくりワークショップ～

1. 目的

行政と地域が一体となってまちづくりを推進するためのワークショップを実施。地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員、医療福祉関係含む民間企業、一般市民などが参加し、「認知症とともに生きるまち」の実現に向け話し合いを行う。

2. 開催概要

【第１回】16 のまちだアイ・ステートメントの普及

・タイトル　認知症とともに生きるまちづくり
　　16 のまちだアイ・ステートメントを地域に広げるには？
・日　時　2025 年 9 月 13 日（土）14:30～17:00
・場　所　市庁舎 3 階　3-2・3-3 会議室
・内　容　2024 年度のワークショップで検討した「アイ・ステートメントを広げるためのアイデア」を参考に、イベント等でアイ・ステートメントを広く市民に広げるためのアイデアや具体的なアクションをチームで検討した。その結果、4 つのチームが立ち上がり、実際にアクションに取組んでいくこととなった。
・参加人数　18 名

【第２回】16 のまちだアイ・ステートメントの普及

・タイトル　認知症とともに生きるまちづくり
　　16 のまちだアイ・ステートメントを地域に広げるには？
・日　時　2026 年 2 月 28 日（土）10:00～12:00
・場　所　市庁舎 10 階　10-2～10-5 会議室
・内　容　各チームのアイ・ステートメント広げるためのアクションについて、取り組んだ結果を振り返り、まとめを作成して発表を行う。（予定）
・参加人数　未定

3. 委託先

一般社団法人 D フレンズ町田

～認知症月間の取組み～

1. 目的

「認知症とともに生きるまち」を目指し、認知症を広く市民の皆様に理解してもらうことを目的とし、認知症月間において、様々な取組を行っている。

認知症月間における取組については、令和６年１月１日に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」において、「国及び地方公共団体は、認知症の日においてその趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めるものとするとともに、認知症月間においてその趣旨にふさわしい行事が実施されるよう奨励しなければならない。」と定められている。

2. 開催概要

●市庁舎１階でのイベント

（1）　KEY’S CAFÉ での出張型認知症カフェ（D カフェ）

開催日時：２０２５年9月２６日（金）９：００～１１：００

参加人数：１５名

（2）　イベントスタジオ

① 認知症当事者が教える竹を使ったワークショップ（HATARAKU 認知症ネットワーク）

開催日時：２０２５年9月２５日（木）　９：３０～１５：３０

参加人数：１０名

② 認知症に備えよう～リハビリスタッフによる健康エクササイズ～
（鶴川サナトリウム病院）

開催日時：２０２５年9月２４日（水）、２６日（金）　各日１３：００～１６：００

参加人数：計３５名

（3）　みんなの広場での認知症普及啓発パネル展示

開催日時：２０２５年9月２２日（月）～２６日（金）　8：３０～１７：００
※２３日を除く

内　　容：①１６のまちだアイ・ステートメントパネル展示　（市）
②出張版！覗いてみよう！ミニ認知症の世界展 in 町田市役所
（鶴川サナトリウム病院）
③市内の地域活動パネル展示（南第１高齢者支援センター）

●市庁舎ライトアップ

開催日時：２０２５年9月１７日（水）、１９日（金）　各日１９：００～２１：００

内　　容：市庁舎を認知症のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップ。

●ＪＲ町田駅前ペデストリアンデッキライトアップ

開催日時：２０２５年9月１日（月）～３０日（火）
各日１６：００～翌６：００

内　　容：ペデストリアンデッキ（１号デッキ、３号デッキ）を
オレンジ色にライトアップ。

～“Dカフェ”（町田市版認知症カフェ）～

1. 町田市版認知症カフェの目的

認知症診断直後の空白の期間の解消を“Dカフェ（町田市版認知症カフェ）”の目的とし、介護サービスが必ずしも必要な状態ではない初期の当事者、その家族と地域のつながりの場。初期の当事者は、まだ介護が必要な状態ではなく、本人が求めるサポートが十分に受けられない場合も多い。そのため、“Dカフェ”がその役割を担い、当事者自身が実現したいことを、当事者同士で意見を出しあい実行していく場とする。

2. 活動内容・実績

(1) 市主催のDカフェ

①出張型Dカフェ

・場　所　市内スターバックス店舗（各店舗月1回）

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により2020年度に一旦中止するも、5類移行に伴い、現在6店舗で再開

・ｺﾝｾﾌﾟﾄ　「“特別な場所”から“日常の場所”へ」

認知症の人やその家族の方がより行きやすく、社会との継続した繋がりを持ってもらうとともに、普段認知症に対して関わりのない地域住民が、認知症を知り、関心を持つきっかけとなっている。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6店舗	6店舗	6店舗	6店舗	6店舗	6店舗	6店舗	6店舗	6店舗	6店舗	6店舗	6店舗
63人	67人	71人	62人	61人	66人	61人	65人	－	－	－	－
7人	4人	5人	3人	4人	8人	5人	5人	－	－	－	－

※上段：参加者数（全店舗合計）、下段：当事者参加者数（全店舗合計）

▼参考/2025年度に開催したスターバックスコーヒー店舗

ぽっぽ町田店/ 町田パリオ店/南町田グランベリーパーク店/多摩境店/町田金森店/鶴川店

②オンラインDカフェ

・方　法　オンライン会議システム（Zoom）（月1回）

※スターバックスコーヒーでのDカフェの代替として開始し、現在も継続

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13人	11人	12人	8人	11人	18人	16人	11人	－	－	－	－
5人	4人	4人	2人	5人	5人	4人	4人	－	－	－	－

※上段：参加者数、下段：当事者参加者数

①②あわせて、開催数56回、参加者616人、うち当事者74人であった。

(2) 地域団体等主催のDカフェ

・開催ケ所数　30ケ所（2025年12月更新）

2025 年度　　No.5

～“D-books”（認知症の人にやさしいブックフェア）～

1. 目的

認知症の診断を受けた当事者やご家族が認知症について調べる際に情報源となる図書館や民間書店等における認知症理解促進、認知症施策周知等

2. 内容

市内図書館、民間書店等で認知症に関連した書籍の特設コーナーを設置

3. 実施

【常設】

書店
くまざわ書店　町田根岸アメリア店
久美堂本店
TSUTAYA　町田木曽店
久美堂書店　四丁目店
久美堂書店　玉川学園店
小島書店　すずかけ台店
啓文堂書店　鶴川店

その他
桜美林ガーデンヒルズ
鶴川サナトリウム病院
鶴川駅前図書館
きらきらオレンジ三輪緑山
みんなの居場所陽だまりカフェ
小山あんしん相談室
木曽あんしん相談室
原町田あんしん相談室
本町田あんしん相談室
南大谷あんしん相談室
鶴川図書コミュニティ施設つるぼん

※2025 年 5 月時点

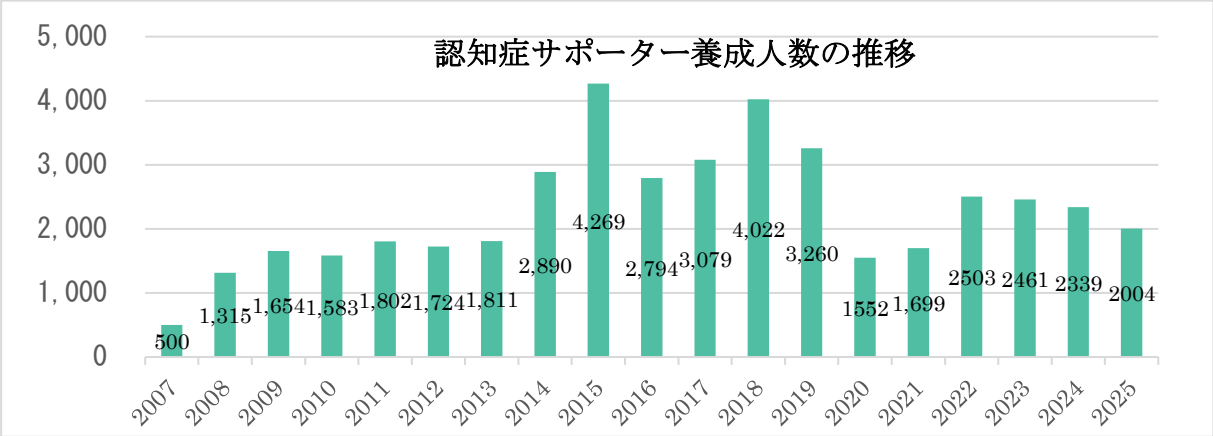
～認知症サポーター養成講座～

1　内容

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を地域で温かく見守る「認知症サポーター」になるための講座。2007 年度から実施し、2025 年度までに累計 43,261 名（11 月末時点）の認知症サポーターを養成した。今後も長期的な視点でサポーター養成を継続していく。

2　今年度の実績

2025 年度は 2,004 名（11 月末時点）を養成いたしました。



3　認知症サポーターステップアップ講座

町田市では、2010 年度から認知症サポーターが認知症について更なる理解を深めるための認知症サポーターステップアップ講座を開催している。2020 年度からは、より認知症当事者の方と直接コミュニケーションをとる時間を多く設けた講座内容に変更した。また、2024 年度から、全域だけでなく、地域でも開催できるよう、実施委託先に高齢者支援センター（地域型）を追加した。

2025 年度は全域型および地域型あわせて 4 回実施し、63 名（11 月末時点）が受講した。累計の受講者数は 1,513 名となった。

～町田市版チームオレンジ～

1. 概要

認知症当事者のニーズを把握するとともに、ニーズに応じた地域活動に取り組む団体等と認知症サポーターやキャラバン・メイト等（以下、「サポーター等」という）とのつながりを構築し、情報提供や情報共有を円滑にすることで、サポーター等が地域で自分にできることを見つけ、その目的を果たせるようにするための仕組みと体制。

2. チームオレンジの構築に向けた取組

(1) キャラバン・メイト連絡会

認知症サポーター養成講座の講師を務めるキャラバン・メイトを対象とした情報共有・交流会の場（キャラバン・メイト連絡会）を開催し、講座のレベルアップやキャラバン・メイト同士の繋がりづくりを行う。

【開催概要】

・日　　時　2026 年 1 月 20 日（火）18：00～20：00
・場　　所　市庁舎 3 階　3-2・3-3 会議室
・内　　容　認知症サポーター養成講座の対象者に合わせた効果的な講義内容や、地域ごとの課題を共有するためのグループワーク
・参加者数　13 名（うち運営会議メンバー7 名）

※キャラバン・メイト向け認知症サポーター養成講座見学会の実施

他メイトが実施する講座を見学することで、キャラバン・メイトの講座レベルアップを図る。2024 年度は、のべ 17 名のキャラバン・メイトが参加した。

(2) 認知症サポーター交流会

認知症サポーター同士がコミュニケーションを図り、情報交換や交流を図ることで、認知症の方の支援に関する知識を深め、自分にできることを発見するきっかけづくりとなること、また、認知症サポーターが行政や地域での認知症に関する取り組みについて情報収集できることを目的に開催する。

①全域型認知症サポーター交流会

・日　　時　2025 年 11 月 11 日（月）10:00～12:00
・場　　所　市庁舎 10 階　会議室
・内　　容　認知症サポーターが参加できる地域活動等の紹介
　　参加者同士のグループ交流
・参加者数　16 名（うち発表団体 8 名）

②地域型認知症サポーター交流会（随時開催）※11 月末時点

地域	日時	参加者数	内容
忠１	6 月 30 日	12 名	活動報告、グループワーク（自分の身の回りでできそうな工夫）
堺２	9 月 28 日	22 名	参加者の活動紹介、グループワーク（１６のまちだアイ・ステートメントを知る）
堺２	11 月 8 日	24 名	参加者の活動紹介、新しい認知症観についての共有、グループワーク（自主グループメンバーにもの忘れ症状が出現した際のリーダーとしての対応や困りごと）

(3) 認知症サポーターの登録（11 月末時点）

認知症サポーターに、地域での活動を促すため、認知症サポーターからメールアドレス等を市に提供いただき、町田市、高齢者支援センターから認知症に関連する地域活動や研修会、交流会等の情報を発信する。

・登録者数　1097 人
・情報提供回数　18 回

～認知症等による行方不明高齢者探索サービス事業/捜索事業～

１．認知症等による行方不明高齢者探索サービス事業

(1) 目的

認知症などのある方が行方不明になった場合に、ＧＰＳ（全地球測位システム）による位置情報端末機器を活用し、現在位置を知らせることで、高齢者の安全を確保し、家族等の精神的・経済的負担の軽減を図る。

(2) 対象者

市内に住所を有するおおむね６５歳以上の在宅生活者で、認知症等の症状のある方

※入院中や介護保険施設等入所の方及び心臓ペースメーカー等医療用電気機器の使用者は対象外。

(3) 費用

月額４４０円

※生活保護世帯は無料、電話通話料等は利用者負担。

(4) 利用実績

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
利用者数	86	104	106	105	114	112	109
総探索数	12, 885	11, 061	12, 792	14, 735	7, 902	5, 514	4, 295

※2025 年度（2025 年 12 月末現在）

２．認知症等による行方不明高齢者捜索事業

(1) 目的

町田市に在住の高齢者が認知症等の症状により行方不明になった場合、ご家族からの依頼を受け、関係機関へのＦＡＸ・メール・ＬＩＮＥ送信、防災無線放送、ＦＭラジオ放送などで情報提供依頼を行い、行方不明者の迅速な発見に繋げる。

(2) 利用実績

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
発生件数	29	20	21	28	18	22	14
発見数	29	20	19	26	18	22	14

※2025 年度（2025 年 12 月末現在）

2025 年度 **No.8**

～認知症初期集中支援チーム事業～

町田市では、早期に認知症の鑑別診断が行われ、速やかに適切な医療･介護等が受けられる初期の対応体制を構築するため、「町田市認知症初期集中支援チーム」を 4 チーム設置した。2015 年 4 月から、市内全域を対象に活動を行っている。

■目的

認知症（疑い含む）の高齢者や家族を対象に、認知症初期集中支援チーム（医師、看護師等の専門職からなる）が定期的に家庭訪問（原則６ヶ月間）し、集中的に支援を行うことにより、認知症の行動・心理症状が安定し、住み慣れた地域での生活を継続していくことを目指す。

■チーム員

医療機関…医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士　等

高齢者支援センター…主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師　等

事務局…町田市いきいき生活部高齢者支援課　医療・介護連携/認知症施策担当

■担当圏域

町田市を 4 つの圏域に分け、下図のとおり圏域ごとに医療機関と高齢者支援センターが担当している。

鶴川圏域
鶴川第１高齢者支援センター
鶴川第２高齢者支援センター
鶴川サナトリウム病院

町田圏域
町田第１高齢者支援センター
町田第２高齢者支援センター
町田第３高齢者支援センター
鶴川サナトリウム病院

堺・忠生圏域
堺第１高齢者支援センター
堺第２高齢者支援センター
忠生第１高齢者支援センター
忠生第２高齢者支援センター
あさひの丘メンタルクリニック

南圏域
南第１高齢者支援センター
南第２高齢者支援センター
南第３高齢者支援センター
鶴が丘ガーデンホスピタル

■訪問実績(2025 年 11 月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	計
鶴川	0	0	0	0	0	0	0	0					0	22
町田	0	1	0	1	0	0	3	0					5	
堺忠生	2	2	2	1	1	2	0	0					10	
南	0	1	1	1	1	0	3	0					7	

2025年度　認知症初期集中支援チーム　チーム員会議件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	計
鶴川	1	0	1	0	0	0	0	0					2	14
町田	0	1	0	1	0	1	0	1					4	
堺忠生	1	0	1	0	1	0	1	0					4	
南	0	1	0	0	1	1	0	1					4	

D-lab

～認知症ケアに関わる研修会～

1. 認知症地域支援推進員研修会について

認知症地域支援推進員等を対象にして、認知症の正しい理解と認知症の総合的なアセスメント技術の向上を図ることを目的に研修会を開催した。

1　開催日時：２０２５年１０月１５日　１４：００～１５：３０

2　主催：町田市役所、認知症疾患医療センター（鶴川サナトリウム病院）

3　講師：東京都健康長寿医療センター　岡村 毅　氏

4　参加者：認知症地域支援推進員等　２２名

5　研修内容：認知症初期集中支援事業の成り立ちや、町田市の課題や全国的な課題を踏まえた今後の当事業の在り方の講演を聞き、立ち上げから約 10 年が経過した町田市の認知症初期集中支援事業について改めて理解を深めた。また、後半ではグループワークを行い、認知症初期集中支援事業の介入が効果的な対象者の選定等について検討した。

2. 認知症ライフサポート研修

医療職と介護職等が相互の役割、機能を理解しながら、認知症ケアにおける多職種協働の重要性等を習得する研修会を開催した。

1　開催日時：　２０２５年１２月２０日　１４：００～１７：００

2　主　　催：町田市役所、認知症疾患医療センター（鶴川サナトリウム病院）

3　進 行 役：認知症疾患医療センター（鶴川サナトリウム病院）　医療相談室
村山　秀人　氏

4　参 加 者：介護支援専門員、看護師等、認知症ケアに関わる医療・介護の専門職の方々、
認知症サポーター等地域で認知症の人の支援に関わる方々　等　２５名。

5　研修内容：地域で認知症の人に関わる様々な専門職が、ケアを提供する上で目的・目標を共有し、その人に対して、医療・介護を含む統合的な生活支援を行っていくための課題、プロセス、解決策等について５グループに分かれてディスカッションを行った。専門職間における相互の理解や、認知症の人を多職種が協力して支える視点の重要性について学んだ。

D-lab

～医療連携会議～

初期集中支援チームを委託している医療機関を参集し、初期集中支援チームの課題等についての検討を行うことで、認知症の方の早期発見･早期治療を実現するための仕組みづくりを行うことを目的に会議を行った。

1. 第１回　医療連携会議

1　開催日時：２０２５年7月１８日　１８：３０～２０：００

2　主催：町田市役所、認知症疾患医療センター（鶴川サナトリウム病院）

3　参加者：初期集中支援チーム員である医療機関　　１３名

4　内容：認知症初期集中支援チーム事業においてより本人の意思を踏まえた支援を行うため、課題や解決方法について、事前アンケートを実施した。その結果をもとに、チーム員の医療機関を参集し、解決方法等について意見交換を行った。

2. 第２回　医療連携会議

1　開催日時：　２０２６年2月１９日　１８：３０～２０：００

2　主催：町田市役所、認知症疾患医療センター（鶴川サナトリウム病院）

3　対象者：初期集中支援チーム員である医療機関・高齢者支援センター

4　内容：第１回目の医療連携会議の結果を踏まえ、チーム員会議や訪問支援、また訪問記録作成などに関して、本人の意思や状況を継続的に把握し必要な支援体制を確立するための協議を行う。

～認知症電話相談～

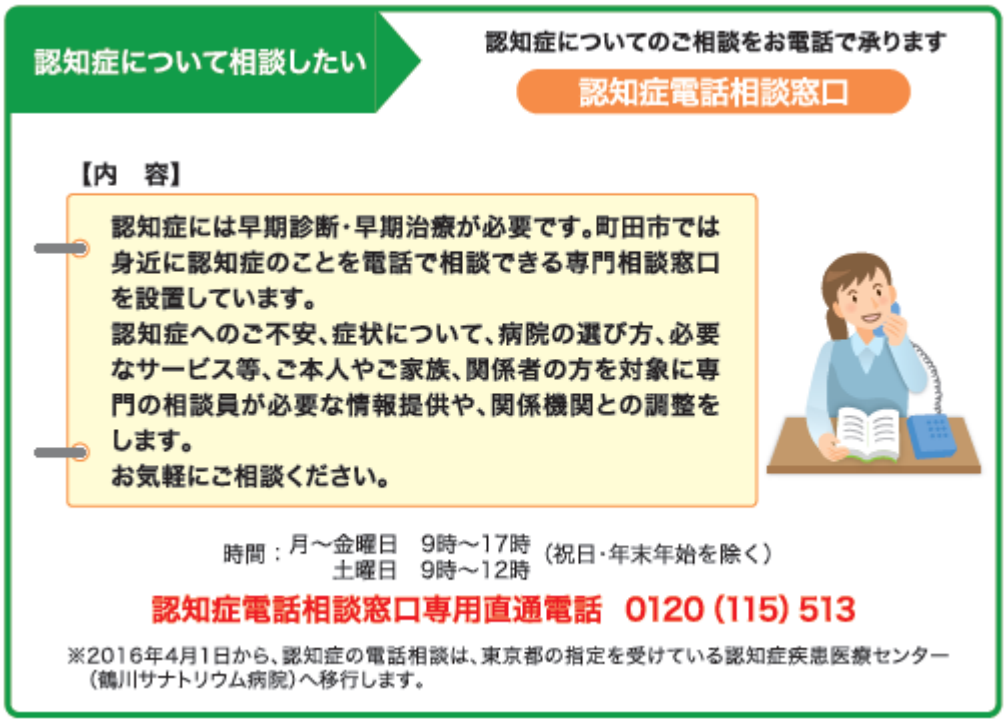
１．事業概要

気軽に認知症の事を相談できる専門相談電話窓口を設置。
認知症に対する不安やその症状について専門の相談員が相談を受けている。
また必要に応じて関係機関との調整を行う。

（１）委託事業者　　鶴川サナトリウム病院（2016 年 4 月 1 日～）
（２）窓口時間　　月～金曜日 9：00～17：00
　　土 9：00～12：00
　　（祝日・年末年始を除く）
（３）設置場所　　鶴川サナトリウム病院内

２．相談実績

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025（12 月末時点）
相談件数	165 件	232 件	173 件	254 件	317 件	232 件	235 件	222 件



D-counseling

～医師によるもの忘れ相談～

もの忘れが出てきて、認知症について気になってきたが、病院に行くまでではないと感じている方、または病院に行くことを考えているが、その前に少し認知症について相談しておきたい方などを対象に、各高齢者支援センターで、毎月１回、医師によるもの忘れ相談を実施。

１．　目的

（１）認知症の疑いがある高齢者を速やかに医療機関に繋ぎ、定期的な受診を促す。

（２）認知症の疑いがある高齢者の早期対応・支援等を行う。

２．　対象者

専門医療機関に繋がっていない認知症の疑いがある高齢者（市内に住所がある 65 歳以上の者）。

３．　内容

電話、来所面接、訪問等の方法をとり、認知症についての知識や情報の提供、専門医療機関受診の案内、介護の仕方及び行動・心理症状への対応、その他認知症全般にわたる指導･助言を行うとともに、必要に応じて関係機関への連絡を行う。

４．　各高齢者支援センターの担当医師、及び医師相談開催日時

高齢者支援センター	担当医師（敬称略）	開催日時
堺第１	多田　利光（よしの病院）	毎月第３水曜日 14：00～16：00
堺第２	島本　昌和（花いかだ診療クリニック）	毎月第４水曜日 10：00～12：00
忠生第１	中島　克恵（敬愛クリニック）	毎月第２月曜日 14：00～16：00
忠生第２	中島　克恵（敬愛クリニック）	毎月第４金曜日 14：00～16：00
鶴川第１	武井　隆多（鶴川サナトリウム病院）	毎月第３木曜日 14：00～16：00
鶴川第２	武井　隆多（鶴川サナトリウム病院）	毎月第１木曜日 14：00～16：00
町田第１	田中　真野（鶴川サナトリウム病院）	毎月第２木曜日 14：00～16：00
町田第２	鹿島　直之（町田まごころクリニック）	毎月第１木曜日 10：00～12：00
町田第３	鹿島　直之（町田まごころクリニック）	毎月第３木曜日 10：15～12：15
南第１	井上　昌彦（いのうえ内科クリニック）	毎月第３土曜日 15：00～17：00
南第２	武井　隆多（鶴川サナトリウム病院）	毎月第２木曜日 14：00～16：00
南第３	西嶋　公子（西嶋医院）	毎月第２金曜日 14：00～16：00

５．2025 年度相談実績（11 月末時点）

相談件数：114 件

紹介状発行数：50 通

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
相談件数	13	16	14	11	15	16	16	14	0	0	0	0	114
紹介状作成数	3	9	4	6	9	7	8	5	0	0	0	0	50

D-counseling

～臨床心理士等による介護者等相談～

各高齢者支援センターで、毎月１回、臨床心理士等（こころの専門家）による介護者等相談を実施。高齢者の方を在宅介護している家族介護者については、認知症に対する病気の理解と本人への接し方および介護に対する心身のストレス軽減方法等について相談できる。また、認知症高齢者ご自身については、認知症に対しての不安や悩み等を相談できる。

１．　目的

（１）家族介護者が、認知症に対する理解とご本人に対する接し方や、それらに対するスキルを身につけ介護力の向上を図る。
（２）家族介護者が、心理的・身体的な介護負担に対しての軽減方法を学ぶ。
（３）家族介護者が、介護を支援してくれる様々な社会資源を把握する。
（４）家族会等の存在を家族介護者にむけて周知し、入会を勧め介護による孤立感を軽減する。
（５）受診に繋がらない認知症の方は、専門医療機関の定期受診に繋がるような助言等を行う。
（６）認知症の方に対し、今後の生活等についてのアドバイスを行い、不安感を低減させる。

２．　対象者

認知症高齢者本人、およびその家族介護者など

３．　内容

（１）認知症の方（認知症の疑いがある者を含む）を介護する家族介護者等を対象に、認知症に対する理解と介護負担に対する軽減および介護方法のスキル向上等についてのアドバイスを行う。必要に応じ、家族会等の紹介を行う。
（２）認知症の方（認知症の疑いがある者を含む）に対し、その不安定な精神面を受け止め、認知症に対する不安感の軽減や受診の重要性等を認知症の方本人と家族介護者に伝えていく。

４．　各高齢者支援センターの担当心理士等及び相談開催日時

支援ｾﾝﾀｰ	担当心理士（敬称略）	開催日時
堺第１	宮田　洋輝　（こころのホスピタル町田）	毎月第３木曜日 13：30～15：30
堺第２	藤原　啓／小野寺　文（こころのホスピタル町田）	毎月第１金曜日 14：00～16：00
忠生第１	藤原　麻里子（こころのホスピタル町田）	毎月第３水曜日 14：00～16：00
忠生第２	小野寺　文（こころのホスピタル町田）	毎月第４月曜日 13：30～15：30
鶴川第１	大坂　加奈／瀬川　千尋(鶴川サナトリウム病院)	毎月第１土曜日 10：00～12：00
鶴川第２	松田　千広／平川　優花（鶴川サナトリウム病院）	毎月第３土曜日 10：00～12：00
町田第１	猪野　貴美子（鶴川サナトリウム病院）	毎月第２土曜日 10：00～12：00
町田第２	宮野　洋子（町田まごころクリニック）	毎月第１金曜日 10：00～12：00
町田第３	田所　正典（聖マリアンナ医科大学病院）	毎月第２木曜日 14：00～16：00
南第１	田所　正典（聖マリアンナ医科大学病院）	毎月第３木曜日 14：00～16：00
南第２	稲垣　和馬（鶴川サナトリウム病院）	毎月第４土曜日 10：00～12：00
南第３	宮野　洋子（町田まごころクリニック）	毎月第３金曜日 10：00～12：00

５．　2025 年度相談実績（11 月末時点）

相談件数：72 件

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
相談件数	4	9	9	14	2	15	12	7	0	0	0	0	72

～視察・メディア掲載～

町田市の認知症施策について、2025 年度は以下のとおり、視察・メディア取材を受けました。

1. 視察

視察日	自治体等	内容
2026 年 1 月 27 日	秋田県大仙市	町田市における認知症施策の取組

2. メディア掲載（11 月末時点）

掲載日・放送日	掲載先・番組名	内容
2025 年 7 月 9 日	毎日経済新聞　（韓国）	認知症カフェ
2025 年 11 月 15 日	トウキョウもっともっと！元気計画研究所（ＴＯＫＹＯ　ＭＸ）	認知症カフェ